



第7号 (2021年10月15日発行)

<第7号 TOPICS>

1. 新任教授のご紹介

大月 道夫 内分泌内科 教授・基幹分野長
本田 五郎 消化器・一般外科（肝胆膵外科）教授
高木 敏男 泌尿器科 教授・基幹分野長

2. 診療科のご紹介 ※別紙をご覧ください。

内分泌外科 皮膚科

3. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について

4. 外来診療予約方法（医療機関専用）について

5. 大学図書館の利用制限について

6. お知らせ（第4回地域連携 Web セミナー開催案内）

★★

1. 新任教授のご紹介

大月 道夫 内分泌内科 教授・基幹分野長



2021年6月に内分泌内科学分野の教授を拝命いたしました。前任地の大阪大学医学部附属病院内分泌・代謝内科では、内分泌分野のチーフとして間脳下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺・カルシウム代謝疾患、副腎疾患、性腺疾患、多発性内分泌腫瘍症などの遺伝疾患など幅広い内分泌疾患を診療してきました。また発起人として大阪府の下垂体疾患診療をしている内科医、脳神経外科医に呼びかけ、2014年より市民講座「もっと知りたい下垂体の病気のこと」（2019年までに9回開催、2020年以降はコロナ禍のため中止）を立ち上げ、患者さん・ご家族同志、また主治医との交流の機会を作り、患者さん・ご家族が下垂体疾患を正しく理解し、療養することができるように努力してきました。東京女子医科大学病院においても、地域の先生方と密接な連携、協力をさせて頂くことにより、内分泌疾患患者さんが、最新の検査、治療を受け、その居住地域で安心して療養できるようにしたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

内分泌内科のホームページはこちらから ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo-bumon/dep-endocrinology.html>

本田 五郎 消化器・一般外科（肝胆膵外科） 教授



令和3年7月に消化器・一般外科（肝胆膵外科分野）教授を拝命しました。熊本生まれ、熊本高校、熊本大学出身ですが、京都大学の山岡外科で肝切除術の手ほどきを受けました。その後、西日本のいくつかの地域中核病院で経験を積み、2006年に東京に参りました。東京では都立駒込病院に約13年間勤務し、その頃から大きな発展を遂げた急性胆嚢炎の早期手術、膵癌の術前治療、胆道拡張症手術、大腸癌多発肝転移の肝切除、そして腹腔鏡下肝・胆・膵手術の標準化と普及に深く関わって参りました。女子医大では、たくさんの患者さんに対して質の高い治療を行うことを目指して、腕だけでなく人を思う心を兼ね備えた外科医を多数育てたいと考えており、既に私のもとに優秀な若手が集まっています。前任の山本雅一教授の意志を引き継ぎ、地域の皆様のご期待に沿える肝胆膵外科専門施設として、これまでも増して奮闘して参る所存ですので、どうか宜しく願いいたします。



消化器・一般外科のホームページはこちらから → <https://www.twmu-ige.jp/surgery/>

高木 敏男 泌尿器科 教授・基幹分野長



この度、2021年4月29日付で、泌尿器科教授・基幹分野長を拝命いたしました、高木敏男でございます。泌尿器科の診療領域は、泌尿器腫瘍（腎臓がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん）、腎不全（腎移植、透析医療）、小児泌尿器科、女性泌尿器科（尿失禁など）、良性疾患（結石、前立腺肥大など）と幅広いですが、東京女子医科大学泌尿器科は全てカバーしております。特に外科治療におきましては、泌尿器腫瘍に対するロボット支援手術、腎移植手術につきまして数年間本邦最多の症例数を維持しております。今後も診療レベルをさらに向上すべく努力し、地域の先生方と連携し、社会に貢献していく所存です。何卒よろしくお願いいたします。

泌尿器科のホームページはこちらから ↓

<http://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/094/Urology/>

2. 診療科のご紹介（内分泌外科・皮膚科）は別紙をご参照ください。

3. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症が全国的に流行している中、当院では感染症対策専門チームが発足し、入院前、手術実施前の患者さんに必ず PCR 検査を受けていただくなど、患者さんが安心して治療に専念出来る体制の構築に病院の総力をあげて取り組んでいます。

入院、手術ともに制限すること無く受け入れておりますので、
安心してご紹介いただければ幸いです。

なお、入院中の患者さんとのご面会は、引き続き感染予防対策上、原則禁止とさせていただきますいております。ご不安、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。

4. 患者さんのご紹介・診療予約について（医療機関専用）

医療機関の先生方からのご紹介・診療予約につきましては、診療希望日に時間的に余裕がある場合は、FAX または予約フォーム（Web 予約）をご活用いただければ幸いです。お急ぎでの予約をご希望の場合は、直通電話または各診療科ダイヤルイン（下記 URL 参照）へご連絡ください。また、専門外来など各診療科で連絡窓口を設置している場合もあり、各診療科のホームページ（下記 URL 参照）もあわせてご参照いただければ幸いです。なお、患者さん・ご家族が直接予約をされる場合は、患者さん専用の予約番号へおかけいただけるようご案内いただければ幸いです。大変お手数をおかけしまして誠に申し訳ありませんが、何卒宜しく願いいたします。

診療予約システム

患者さんから
予約する場合



①予約専用電話
TEL：03-5269-7600



自動音声案内（アンサーングマシーン）
1～9 を選択。該当診療科各医局が対応。

②Web予約（患者さん専用）
<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form/>



外来医事課が対応

医療機関から
予約する場合



①FAX予約：03-5269-7387

②地域連携室 TEL：03-5269-7160



地域連携室事務員が対応

③Web予約（医療機関専用）
<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

④診療科ダイヤルイン（医療機関専用）
<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/20200704-daiyaruin.pdf>



各診療科当番医が対応

患者さん専用予約システムの変更についてはこちらもご参照ください。↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/yoyaku-20200808.pdf>

診療科ダイヤルイン一覧はこちら ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/SW/images/image-sw/pdf/daiyaruin-200515.pdf>

Webでの予約申し込みはこちらから ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

各診療科のホームページはこちら ↓ ※部門 HP をクリック

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

5. 大学図書館の利用制限について

現在、新型コロナウイルス感染予防のため、引き続き外部の方の利用を制限させていただいており、連携登録医の先生方には、ご利用いただけない状況になっております。誠に恐れ入りますが、利用制限が解除になり次第、改めてご案内させていただきますので、ご理解・ご協力のほど何卒宜しく願います。

大学図書館の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/library/>

6. お知らせ

第4回東京女子医科大学病院地域連携 Web セミナー開催のご案内

2021年10月28日（木）19時より、第4回地域連携 Web セミナーを開催いたします。

19時20分～ 講演1. 「身近な内分泌疾患-診療の実際」

内分泌内科 教授 大月道夫

19時50分～ 講演2. 「最新の腹腔鏡下肝胆膵手術」

消化器・一般外科 教授 本田五郎

お申し込みは、下記のとおりです。多くの先生方にご参加いただければ幸いです。何卒よろしく願います。

**東京女子医科大学病院
第4回地域連携Webセミナー**

開催日時 令和3年10月28日(木) 19:00~20:30
開催場所 東京女子医科大学病院より配信予定(ZOOM)
対象者 医師及びメディカルスタッフ

プログラム

司会 医療連携・入退院支援部運営副部長 佐藤 加代子
19:00~19:20 開会挨拶 東京女子医科大学病院 病院長 田邊 一成
19:20~19:50 講演1: 「身近にある内分泌疾患-診療の実際-」
内分泌内科 教授 大月 道夫
19:50~20:20 講演2: 「最新の腹腔鏡下肝胆膵手術」
消化器・一般外科 教授 本田 五郎
20:20~20:25 閉会挨拶 医療連携・入退院支援部運営部長 板橋 道朗

【申込み方法】下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc1RLxzmBpwdsCTeIJVzw5GG8Ro4IC3IX0igg2PNRW8Wgqw/viewform?vc=0&c=0&w=1&f>

【お問い合わせ】
医療連携・入退院支援部 地域連携室
renkei_bm@twmu.ac.jp
03-5269-7387 直通電話: 03-5269-7160

【申込み方法】下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc1RLxzmBpwdsCTeIJVzw5GG8Ro4IC3IX0igg2PNRW8Wgqw/viewform?vc=0&c=0&w=1&f>

【お問い合わせ】

● 東京女子医科大学病院 医療連携・入退院支援部 地域連携室

● メール: chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp

● FAX: 03-5269-7387

● 直通電話: 03-5269-7160

● 締切: 令和3年10月26日(火)



ご案内図



○地下鉄

- 都営大江戸線 ②若松河田駅下車(若松口より徒歩約5分)
- 都営新宿線 ③牛込柳町駅下車(西口より徒歩約5分)
- ④曙橋駅下車(A2出口より徒歩約8分)

○都営バス

- 宿74系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前
- 宿75系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前←⑧四谷駅前←三宅坂
- 早81系統 早大正門→⑤馬場下町(早稲田駅)→東京女子医大前←⑥四谷三丁目←千駄ヶ谷駅前←原宿前←渋谷駅東口
- 高71系統 ⑦高田馬場駅前→東京女子医大前←⑨市ヶ谷駅前←九段下

内分泌外科

1. 科の紹介・診療実績

内分泌外科では甲状腺や副甲状腺、副腎等のホルモンを産生する臓器の腫瘍やホルモン過剰症の診断と治療を専門としています。

◆ 甲状腺

甲状腺癌の手術方針を決めるには癌の進行度合いを見極めることが重要です。我が国の診療ガイドラインに即し、適切な管理方針を選択しています。1cm以下の経過観察も可能な乳頭癌には、手術または経過観察の選択を患者様と相談し決定しています。再発リスクの低い症例では甲状腺片葉切除に留めてなるべく甲状腺の機能を温存する手術を提案しています。

◆ 副甲状腺

原発性副甲状腺機能亢進症は我が国でも有数の手術症例数を経験しています。摘出すべき病変の位置を正確に診断することにより完治を実現し、手術成功率（治癒率）は99%です。極めて稀な副甲状腺癌症例も40例以上の経験を有し、的確な診療の確立に努めています。

◆ 副腎

副腎腫瘍に対しては腹腔鏡下手術を標準術式としています。二次性高血圧の原因となるアルドステロン症、クッシング症候群、そして褐色細胞腫の外科治療が主ですが、副腎癌や悪性褐色細胞腫の診療も行っています。

遺伝性疾患である多発性内分泌腫瘍症（MEN）の診療も行っています。MEN1型の副甲状腺機能亢進症では過不足のない治療を目指して適切な術式を個別に検討・判断します。消化器科や内分泌内科と連携し治療に当たります。MEN2型では遺伝子診断を行い、甲状腺髄様癌では腫瘍マーカー正常化を目指した根治手術を行う一方、両側副腎褐色細胞腫では機能温存の可能性を念頭に置いて管理方針を決め、治療に関しては当科で全て完結できます。また遺伝子陽性・未発症の保因者に対しては専門医としての的確な医療情報を提供し、慎重な対応を心掛けています。

全ての手術治療には安心・安全を心がけております。そしてなるべく機能の温存と患者様の生活の質を損なわないことを第一にしております。年間手術数は約200-250例（2019年度手術実績 甲状腺手術：136例、副甲状腺手術：55例、副腎手術：21例）です。

2. ご紹介いただきたい疾患・症例、予約方法など

甲状腺や副甲状腺、副腎腫瘍等の症例については是非当科へご紹介ください。当科初診予約は基本的に毎日受け付けております。

患者様：初診予約フォーム、あるいは予約直通電話（03-5269-7600）

医療機関様：初診予約フォーム（医療連携・入退院支援部）、あるいは担当医直通電話（03-6709-9378）

からそれぞれお申し込みください。詳細については病院ホームページをご参照ください。どんなことにも対応させていただきますので、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

※診療担当表 URL：<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/doctor/03surgery.html>

※当科ホームページ URL：<https://bestwmu.xsrv.jp/>



診療部長 岡本高宏



皮膚科

1. 科の紹介・診療実績

当科では、皮膚に現れるさまざまな皮膚疾患全般の診察にあたっています。皮膚疾患は、湿疹・皮膚炎、薬疹、細菌・真菌感染症、母斑（あざ）、皮膚腫瘍（良性・悪性）などがあり、最新の知識・技術を活かして、診察、検査を進めると共に、患者さんのニーズに添うような治療を行うように心がけています。専門外来としては、アトピー性皮膚炎、じんましん、尋常性乾癬、膠原病、レーザーを設け、重点的なケアが必要な方たちの診察や生物学的製剤などによる治療を適切に行っています。また、大学病院という性質上、皮膚に限局した症状のみならず、全身疾患と関連して起こる皮膚症状を的確に判断することで、他科と連携した診療を心掛けています。特に当院で多くの患者さんが来院される膠原病リウマチ疾患、血管炎などについては、皮膚生検での診断を含め、しっかりと連携して診療にあたっています。外来手術ではほくろや粉瘤などの小手術を行い、植皮が必要な大きな手術は入院にて行います。近年、女性における美容に対する関心はとても高いものがありますが、当科ではレーザー外来にて患者さんのニーズに応える診察を行い、しみやあざなどの治療にも取り組んでいます。水疱症や蜂窩織炎など、総合的なサポートが必要となる疾患では、入院での速やかな対応を行っています。また、地域の病院や開業医の先生方と提携して地域医療に貢献できるよう病診連携に力を入れております。



診療部長 石黒 直子

2. ご紹介いただきたい患者様

アトピー性皮膚炎、じんましん、膠原病、血管炎、水疱症、尋常性乾癬、皮膚腫瘍、しみやあざなど皮膚疾患が疑われる症例はぜひ当科へご紹介ください。

3. ご予約方法

当科初診予約方法詳細については病院ホームページをご参照ください。

専門外来(アトピー性皮膚炎、じんましん、尋常性乾癬、膠原病、レーザー)については皮膚科のホームページをご参照ください。

※病院ホームページ

URL : <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>

※診療担当表

URL : <http://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/081/outpatient/index.html>

※皮膚科のホームページ

URL : <http://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/081/index.html>

4. 最後に

女子医大の基本的理念である「至誠と愛」(誠実かつ真摯な姿勢、慈しみの心)を実践し、他科や他施設と連携して診察にあたり、良質で安全な医療の提供を第一と考え、それに向かって努力を続けることに全員が力を合わせて取り組んでいます。お気軽にご紹介頂ければ幸いです。